

# Pon's



PON'S  
2026 年 49

医療法人一祐会  
藤本病院グループ  
広報誌『ポンず』

## CONTENTS

- 3 藤本病院の  
リハビリテーション vol.2
- 9 一祐会ニュース
- 16 理事長あいさつ
- 18 表紙作品の紹介
- 18 ポンちゃんニュース！
- 19 藤本病院グループ施設紹介

## 広報誌『ポンず』は

寝屋川市に暮らす皆さんの健康促進を目的に医療・介護をはじめとするヘルスケアに関する情報を発信するとともに、藤本病院グループ施設「藤本病院」「介護老人保健施設 ハーモニー」「サービス付き高齢者向け住宅 シンフォニー」「藤本病院訪問看護ステーション」「藤本病院居宅介護支援事業所」の情報を掲載いたします。



ポンちゃん

『ポンず』というタイトルは、藤本病院受付にいるスッポンの「ポンちゃん」から名付けられました。ポンちゃんがキャラクターとなり、当広報誌を案内します。

## 3 藤本病院のリハビリテーション vol.2

## 9 一祐会ニュース

- ・「医療の改善活動全国大会 in 北九州」で当法人が発表（一祐会）
- ・2025 年度 一祐会 研究発表大会を開催（一祐会）
- ・訪問看護のパンフレットが新しくなりました  
（藤本病院訪問看護ステーション）
- ・『とれとれ活造りショー』を開催しました（ハーモニー）
- ・小寺介護福祉士が「大東ウインドオーケストラ」と歌唱共演！  
（ハーモニー）

## 16 理事長あいさつ 年頭にあって

## 18 表紙作品の紹介

## 18 ポンちゃんニュース！

## 19 藤本病院グループ施設紹介

# 藤本病院の

## リハビリテーション vol.2



前号では、リハビリとは何か、その目的や早く始めることのメリットなどを「リハビリテーション vol.1」として取り上げました。続号となる今回は、より具体的にリハビリの内容について取り上げます。

もしも自分や家族が、病気やケガで入院し、リハビリを受けることになったら…。事前に少しでもイメージをつかんでいただき、実際のリハビリで不安や疑問が少ない状態で臨んでいただけたらと思います。

### 前号のおさらい

**リハビリとは**、病気やケガ、加齢によって生じた心身の機能障がいに対し、可能な限り、その能力を回復もしくは維持していくことで、日常生活や社会生活を再び自分らしく送れるようサポートすることです。

### ● 全身のチームワークによって 支えられる日常生活

私たちは毎日、全身のあらゆる部位が運動することで生活が支えられています。しかし、その一つひとつの動きを「どの筋肉をどう動かすか」と意識して生活している人はいないはずですよ。

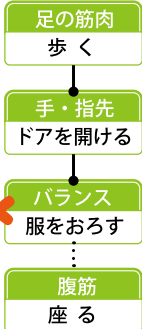
例えば、「トイレに行く」という何気ない動き一つに、体中の驚くほど多くのパーツが関わっています。まず、足の筋肉を動かして歩き、手先でドアを開け、ボタンを外し服を下げます。さらに、便座に正確に座するための腹筋、排泄をコントロールする内臓の神経まで、全身が休む間もなく連携しているのです。

もし、ケガなどで、指先一つ、あるいは足の筋力の一部が機能しなくなるだけで、この「当たり前」は途端に困難になります。私たちの日常は、体の全部がチー

### ✕ トイレに行く



一部が機能しなくなるだけで、できなくなってしまう。





ムワークを発揮することで守られています。

病気やケガ、加齢によって、機能が低下すると、リハビリを通して、トレーニングを行い能力を回復させたり、これまでと違った方法を探ったり、補助具で補う、などの解決策を検討します。退院後、自宅に戻った後も、できるだけ自立した日常生活が送れるようリハビリ専門の療法士と一緒に考えます。

## ●リハビリのための設備・機器

リハビリにはさまざまな設備・機器が用いられます。大きい設備から、小さな道具まで数ええると、その数は100種類以上になります。藤本病院のリハビリセンターには、自宅環境を想定した設備や、機能回復のための道具が整えられています。その一部を次に紹介します。

### シンクロウェイブ



身体を左右に揺らし、脊椎を正しい位置に戻すとともに、柔軟性の向上を図ります。

### 自転車エルゴメーター



ペダルをこぎ、全身持久力の向上を図ります。運動量を正確に測定できます。

### 低周波治療器



皮膚の上から微弱な電気を流し、痛みの緩和、筋肉を動かす、血行促進を図ります。

### 入浴シミュレーター



浴室を模した装置で安全に入浴できるかの練習・確認するリハビリ設備です。

### 言語聴覚療法室



防音などに配慮した言語聴覚のための個別療法室です。聴く、しゃべるに特化して評価・訓練を行います。

## ●リハビリの専門家

理学療法士、作業療法士

言語聴覚士に聞きました。

リハビリを担当する専門職には、立つ・歩く・座るなどの**基本動作を担う「理学療法士」**、トイレに行く、料理をするなどの**生活動作担当の「作業療法士」**、食事・コミュニケーションを専門とする「**言語聴覚士**」がいます。

それぞれの仕事の特徴や、大切にしていることなどを藤本病院リハビリテーション科のスタッフに聞きました。

## 理学療法士（PT） りがくりようほうし

### 基本動作の

### 回復・維持・悪化防止

福田 理学療法

士は、病気やケ

ガによって低下した

「起き上がる」「座る」「歩く」

といった基本動作の回復・維持・悪化防止を専門とする職種で、通称「PT」（Physical Therapist）と呼ばれます。

当院の急性期病棟では、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士とも、患者さんが入院してから退院するまで、一貫して同じスタッフがサポートする「担当制」を採用しています。これにより、患者さんと深く、長くコミュニケーションを取ることが可能となり、信頼関係を築きやすくなります。

リハビリでは、何よりも患者さんとの「信頼関係」が大切だと考えています。リハビリは時に痛みを伴い、心身ともに「しんどい」作業です。だからこそ、患者さんのやる気を引き出すため、お話をする中でどのような声掛けをすれば良いか考え、一人ひとりの心に寄り添いながら向き合うことを大切にしています。患者さんの意欲の有無で、同じリハビリ時間でもその



福田 勇太  
理学療法士

効果には大きな差が生まれます。だからこそ、まずは退院後の理想の姿を一緒に思い描き、目標を持って臨んでいただきたいと願っています。「できなかったこと」への辛さに共感しつつ、少しでも自立へと近づけるよう、共に考え、歩んでいくパートナーでありたい。それが理学療法士としての想いです。

また、患者さんの状況や声を、医師・看護師・医療ソーシャルワーカーなどの多職種と共有し患者さんとの「架け橋」になれるよう意識しています。

## 作業療法士（OT） さぎよりようほうし

### その人らしい

### 生活ができるよう 人生に向き合う

中橋 作業療法士

は、排泄、入浴、着替え、食事と

いった「セルフケア」から、家事や買い物などの「生活に関連する動作」まで、退院後の暮らしを自分らしく送れるよう支援する専門職で、通称「OT」（Occupational Therapist）と呼ばれます。

私たちのリハビリは、患者さんの価値観やこれまでの生き方を尊重することから始まります。病状、年齢や障がいのみで判断するのではなく、「どのような生活を送りたいか」という本人の想いに耳を傾け、今持っている力や



中橋 友里恵  
作業療法士





可能性を最大限に引き出し、代替案や身体の動かし方をアドバイスしながら解決法を一緒に考えていきます。

当院は、認知機能の評価に基づいた個別支援と、週に一度の複数人での活動を取り入れた「集団リハビリ」があります。壁画制作やカラオケ、卓球大会などを通じて、他者と交流しながら「笑って過ごせる入院生活」を目指し、工夫しています。楽しみながら身体を動かすことは、一人で訓練するよりも自然な動作を引き出し、地域社会へ戻るための心の準備にもつながります。

リハビリを効果的に進めるポイント  
は、入院前から「ちよつと困っていたこと」（浴槽のまたぎにくさ、買い忘れなど）を教えていただくことです。それにより、手術の影響ではない潜在的な課題に気づき、より適切な方法を検討できます。リハビリでは、できなくなった自分に落ち込む気持ちがあると思いますが、私たちは「できないこと」を数えるのではなく、リハビリを通して「できるようになったこと」を共に喜びます。人はずっと成長していきま  
す。焦らず、あなたのペースで、小さな成功体験を積み重ねて一緒に頑張っていきましょう。

## げんごちょうかくし 言語聴覚士（ST）

食べる・コミュニケーションの  
専門家、お口ケアで未来へ投資

山本 言語聴覚士は、  
「話す」「聞く」「食べる」「飲み込む」といっ  
たコミュニケーションや食  
事の機能を支える専門職で、  
通称「ST」（Speech-Language-  
Hearing Therapist）と呼ばれます。

脳血管障害や誤嚥性肺炎、消化器手術後の方などを対象に、再び口から食べる  
こと、コミュニケーションの回復を目指  
し支援します。私たちは、住み慣れた場  
所を一人離れて病と闘う患者さんに寄  
り添い、リハビリの時間以外でも声掛け  
するなど、心の支えになれるよう努めて  
います。

現在、入院中の方も、病氣・ケガに関  
わりのない方も、未来の自分へ、備えを  
していただきたいです。人は誰でも、加  
齢や病氣により、いつか口から食べられ  
なくなる時がやって来ます。その時、「胃  
ろう」を作るのか、点滴に頼っていくの  
か、自然に任せるのか。元氣なうちから  
「自分はどうかありたいか」をご家族や友  
人と話し合っておくことは、自分らしい  
人生を守るために非常  
に大切です。

また、「口の健康」は  
全身の体力と直結して  
います。嚙む力が落ち



山本 一等  
言語聴覚士

## 入院中のある1日のスケジュール

●80歳女性のAさんは、発熱のため救急車で運ばれ入院。検査の結果「誤嚥性肺炎」と診断され、病棟での急性期リハビリテーションを受けています。  
※スケジュールは状態や日によって変わります。

ると栄養不足になり、さらなる体力低下を招くという悪循環が生まれます。これを防ぐために、今から始めてほしいのが「口の体力作り」です。いっぱい話し、歌い、喉を使うこと。そして日々の歯磨きや定期的な歯科受診で口の清潔を守ること。これらは5年後、10年後、20年後の自分を助ける最高の投資になります。私たちは、患者さんが最後までその人らしく、味わい、語り合える生活を送り続けられるよう、全力でサポートいたします。

### ●入院の1日の流れ

入院生活では、一日24時間の中で、療法師と一緒にリハビリを行える時間は一部であり、非常に限られています。朝目覚めてから食事、排せつ、入浴、空き時間というリハビリ以外の時間をどのように自律的に活動するかによって、回復のスピードは大きく変わります。もちろん安全に活動していくことが大前提になります。

療法師、医師、看護師、医療ソーシャルワーカーといった多職種と密にコミュニケーションを取りながら、協力して患者さんの在宅復帰を目指します。

6:00 起床・バイタル  
※ チェック 看護師によるバイタルチェック。睡眠状況や痛みの確認。

8:00 朝食 疾患別に考えられた栄養バランスの良い入院食を食べます。

9:00 医師の回診 全体的な状態確認。

清潔ケア 看護師による清潔保持、褥瘡（床ずれ）のチェック。

10:00 口腔  
リハビリ ST 歯磨き、うがい、嚥下状態を確認  
喉の筋トレ（40分）

12:00 午前の  
リハビリ PT 持久力練習、バランス・立ち座り練習（40分）

14:00 午後  
リハビリ OT 移動や服の着脱を含めたトイレ動作練習（40分）

15:00 自主練習 病室で身体のアプローチや、下半身の筋トレ、腹式呼吸の練習

16:00 バイタル  
チェック 午後活動による身体への影響の確認。

18:00 夕食 疾患別に考えられた栄養バランスの良い入院食を食べます。

21:00 就寝 十分な睡眠を確保し、回復を早めます。

※バイタルチェックとは、「脈拍・呼吸・血圧・体温・意識レベル」等の測定を行うことです。



# リハビリ Q & A



## Q リハビリの適切な実施量・目安などはありませんか？

**A** 手術後すぐなのか、患部が安定した頃なのか状況がどの段階であるかにもよりますが、リハビリの量としては筋肉痛になる直前くらいが丁度良いとされています。

筋肉は運動によって壊された組織が修復される過程で、元よりも少し太く強く再生されます。ですが、あまり強い負荷では、壊れた組織が回復するのに時間がかかります。加減が難しいですが、療法師が身体の状態を確認し適切な運動量を設定いたします。

また、リハビリには、栄養バランスのとれた十分な食事が欠かせません。栄養が取れないと、エネルギーを消耗するのみで筋肉が痩せ逆効果になるため、ドクターストップがかかってしまいます。

## Q 入院中に自由にリハビリセンターで運動しても良いですか？

**A** リハビリには、療法師と一緒に行うときと、ご自身で行う「自主練習」があります。これは、医師の判断のもと、自主練習を行っていただきたい方、実施が可能な方に「自主練習カード」をお渡しし、空いている時間にご自身の病室やリハビリセンターで行っていただくものです。自主練習カードには、最低限行っているいただきたいメニューを記載しています。リハビリセンターは9時00分～11時30分、13時00分～16時30分の時間に開いています。

ので、担当の療法師と時間調整の上、自主練習カードをお持ちいただき、ご使用ください。

## ● 体力作りで 病気やケガ対策

まずは日々の生活の中で病気・ケガをしないよう心掛けましょう。運動不足や飲酒・喫煙、不摂生、また、加齢によって身体の機能は落ちていきますので、意識して運動をすることをお勧めします。

病気やケガは予防していても起きてしまうもの。基礎体力や筋肉量を増やし維持しておく、いざ入院して一時的に機能が下がっても、早い回復が見込めます。

## 寝屋川市の「ねやちよ筋プレミアム」

寝屋川市は、市民の「健康寿命の延伸」を目指し、「ねやちよ筋プレミアム」事業を行っています。この事業では、65歳以上の寝屋川市民を対象に、筋肉量や骨密度の大測定会を開催したり、食環境づくりのための提案を行っています。お気軽に測定会に足を運んでみてはいかがでしょうか。

▼ねやちよ筋プレミア  
ム事業の詳細はこ  
ちらをご覧ください。





## 「医療の改善活動 全国大会in北九州」で 当法人が発表



▲左から 小谷介護福祉士 阪口理学療法士  
塩見理学療法士 松本介護士

2025年11月14日・15日に開催された「医療の改善活動全国大会in北九州」(主催:医療のTQM推進協議会)に、当法人から、藤本病院リハビリテーション科「リハーズ2025」と介護老人保健施設ハーマニー「チームハーマニー」の2チームが参加しました。両チームは去る8月に開催された「一祐会TQM活動発表大会」で金賞、銀賞を受賞しており、北九州

でその成果を発表しました。

リハーズ2025のテーマは「サマリー作成の負担を減らせ!」“書く”から“選ぶへ”。リハビリサマリーとは入院患者さんの身体状況やリハビリの経過を、ケアマネジャーや入所施設の担当者へ正確に伝えるための記録です。見直したサマリーでは、よく使う項目は選択式にし、患者さんごとの特徴が必要な部分は文章で記載する新しい様式を作成。改善目標にしていたサマリー作成の作業時間の短縮を達成することができました。また、情報の正確性も向上しました。

チームハーマニーのテーマは「STOP転倒!大作戦」です。医療介護分野において転倒転落は永遠の課題であり、在宅復帰やその後の生活にも大きく影響します。転倒防止に向けて、発生場所や要因、入所者の認知機能に着目し綿密に検討。介護施設の中で転倒を減らすため、多職種カンファレンスの充実や、転倒リスクを3段階に色分けしたADLシートの作成など、さまざまな工夫を重ねました。さらに、「見守り」の定義を再確認するといった、基本的な視点の共有にも取り組みました。

## ■発表を終えたメンバーからは

「会場で全国の病院や施設のさまざまな取り組みを知ることが、自分たちの活動の意義に気づくことができた。緊張しましたが、最後までやり遂げられて良かったです」

「初めての参加で緊張しましたが、事前準備のおかげで伝えたいことをしっかりと伝えられたと思います。他の発表も参考になり、今後の取り組みに活かしたいです」

と、声が寄せられました。参加を通じて大きな刺激と学びを得る機会となりました。

医療法人一祐会

## 2025年度 一祐会 研究発表大会を開催

### ■8演題が発表される

去る12月6日  
「2025年度 一祐会研究発表大会」  
が開催されました。

冒頭、法人本部  
の大原 了本部長  
が挨拶に立ち、「こ



の大会では、日々の業務のなかで抱いた疑問、お互いの工夫や苦勞を共有し、気づきを持ち帰ってもらいたい」と、話しました。

### ■入谷理学療法士の研究が高評価

その結果、藤本病院 診療技術部リハビリテーション科の入谷隆介理学療法士が発表した「リハビリテーションプロセスと急性期病棟在院日数の関係性に関する後向きコホート研究」が金賞を受賞しました。



これは、急性期病院における在院日数短縮という課題に対し、リハビリテーションプロセスと在院日数の関係、影響を与える要因を明確にすることを目的としたコホート研究です。

コホート研究とは、共通の特性を持つ集団（コホート）を長期間にわたって追跡調査し、特定の要因と病気の発症や健康状態の変化との関連を明らかにする研究です。





入谷理学療法士は、2024年7月から翌年8月までの1年間、自身が担当した134名の患者さんの約3500件に及ぶデータを追跡し、重回帰分析を行い、次の3つが在院日数と有意な関連を示したと発表しました。

①リハ開始からADL評価までの日数

↓1日延長すると在院日数が約0.6日延長

②病棟への報告の有無

↓報告があったケースでは、在院日数が約2.9日延長

③入院時ADL

↓1点高い（自立度が高い）と在院日数が約0.1日短縮

■銀賞、銅賞は…



銀賞には、藤本病院 診療技術部放射線科の放射線技師 永福と山田和弥が発表した「胸部CT撮影における被ばく線量の調査と低減の検討」が選ばれました。

銅賞は「超音波検査における脂肪肝診断」ATIIの有用性について」を発表した藤本病院 診療技術部検査科の検査技師 相澤翼主任が受賞しました。

## 研究発表一覧

■藤本病院 診療技術部放射線科

「胸部CT撮影における被ばく線量の調査と低減の検討」

■藤本病院 看護部4階病棟

「病棟内で口腔ケアを効果的に行い誤嚥性肺炎予防に繋げる」

■藤本病院訪問看護ステーション

「介護用ベッドのリモコン操作の実態」

■藤本病院 看護部2階病棟（本館）

「術後腹帯の必要性について」

■藤本病院 診療技術部検査科

「超音波検査における脂肪肝診断」ATIIの有用性について」

■藤本病院 看護部産婦人科外来

「電話問い合わせテンプレート」産婦人科患者お問い合わせ事項」の有用性について」

■藤本病院 看護部若草保育所

「食育」味わう・感じる・育つ」

■藤本病院 診療技術部 リハビリテーション科

「リハビリテーションプロセスと急性期病棟在院日数の関係性に関する後ろ向きコホート研究」

## ■目の付けどころが良かった

成績発表と表彰式を終えたのち、一祐会・藤本明久理事長が総評を行いました。



「8つの演題とともに、目の付け所が良い研究でした。内容も興味深く、私自身の勉強につながり、今日は有意義でした」

「入谷理学療法士の研究発表は、ここだけの発表で終わらせるのではなく、外部の学会等で発表してもらいたいと思います。いま、病介連携を進めています。介護関係の皆さんの勉強会等で発表すると、地域全体がよくなっていくのではないかと思います」と、話しました。

## 藤本病院訪問看護ステーション

## 訪問看護のパンフレットが新しくなりました



藤本病院訪問看護ステーションのパンフレットが新しくなりました。現在、藤本病院グループの各施設の受付にて

ご希望の方に配布しております。

当施設は、寝屋川市一帯を対象に在宅や施設での療養を希望される方のもとへ、看護師・理学療法士が訪問し健康管理や医療的ケア、リハビリなどを行う「訪問看護」サービスを提供しています。

病気や障がいがあっても、住み慣れた場所で過ごせるよう専門職がサポートいたします。

## ■訪問看護の

### 対象となる方

- 病気や障がいをお持ちで、ご自宅や施設での在宅療養を希望する方
- かかりつけ医が訪問看護の利用を必要と認める方



## ■ご利用を希望の方は

ご自身のかかりつけ医、または担当のケアマネジャーに訪問看護を利用したい旨をご相談ください。





## 『とれとれ活造りショー』 を開催しました



12月3日、介護老人保健施設ハーモニイ（寝屋2丁目）で、生簀<sup>いけす</sup>から魚を取り出してさばき、そのお刺身を利用者さんのお昼ご飯として提供する「とれとれ活造りショー」を開催しました。

従来行っていた寿司バイキングに変わり、「いつもとは違う体験を！」を目的に企画されたイベントです。食べるだけでなく、泳ぐ魚を見る、さばく様子を間近で楽しむなど、さまざまな角度から「食の楽しみ」を感じてもらいたいという想いが込められています。企画した市原管理栄養士は「食のイベントを通して、たくさん笑顔や、

普段とは違う利用者さんの姿を見ることができると話していました。

### ■2階（認知症棟）では

#### 「真鯛の三枚おろしショー」

2階では真鯛の三枚おろしショーからスタートしました。愛媛県産・2kg超の立派な真鯛を、調理師が目の前で見事に三枚おろしに。入所者さんからは「プロみたいやな」と声がかかり、調理師が「練習してきました」と返し笑いが起きました。

### ■1階（一般棟・デイケア）では

#### 「とれとれ活造りショー」を開催

1階では、生簀から魚を網で捕まえ、その場で締めてお刺身にする本番のショーが始まりました。

特設された生簀には愛媛産真鯛、シマアジ、ハタ、マアジ、カワハギなどの高級魚が元気に泳ぎ、職員が網で捕まえると暴れて跳ね上がるほどの迫力でした。その他、サーモン、ブリ、マグロも盛りつけられました。

次々とお刺身が盛られていく様子を、デイケアの利



用者さんやお昼ご飯を食べに来た入所者さんが興味深そうに見ていました。入所者さんを対象に魚の絵の飾りを頭につけて記念撮影も行いました。

出来たてのお刺身

は入所・デイケアの利用者さんの昼食として提供されました。メインのお刺身のほか、天ぷら、茶わん蒸しが並び、お刺身の追加おかわりも用意され、大変好評でした。



### ■食が進まない方にも変化が

市原管理栄養士は他施設で行われていた「マグロの解体ショー」を見学したことがきっかけで今回の企画を思いつき、当施設で実施できる方法を調理師に相談しイベント開催に至りました。



た。

「今回のイベントでは、普段は食が進まない利用者さんが、自ら『おいしい!』と笑顔で完食し、おかわりまでされる姿が印象的でした。スタッフ一同その姿に驚き、写真や動画をたくさん撮りました。嬉しくて空っぽのお皿まで思わず撮ってしまいました」と、話していました。

介護老人保健施設ハーモニー

小寺介護福祉士が「大東ウインドオーケストラ」と歌唱共演!



去る2025年12月28日、大東市の市民楽団「大東ウインドオーケストラ」による定期演奏会『スイートコンサート』がサティールホール(大東市新町)で開催されました。このステージに、当法人「介護老



人保健施設「ハーモニー」の通所  
リハビリ科長・小寺介護福祉士が  
歌唱ゲストとして出演し、コラボ  
パフォーマンスを披露しました。

### ■施設で愛される「歌声」が

#### 地域のステージへ

小寺科長は、日頃からハーモニー  
の通所リハビリにおいて、自身の歌  
唱力を活かしたレクリエーションを行  
っています。利用者さんと一緒に歌い、  
音楽を通じて心身の活性化を促すその  
活動は、多くの利用者さんに笑顔と元  
気をお届けしており、当通所リハビリ  
の名物レクリエーションの一つとなっ  
ています。

今回のコンサート出演は、そんな「音  
楽の力」を信じて活動する小寺科長  
と、当法人が毎年行う地域交流イベ  
ント「フジフェス」に出演いただいた  
いる大東ウインドオーケストラとの想  
いが重なり、実現いたしました。

### ■会場が一体となって「故郷」を合唱

コンサートでは、パワフルなブラ  
スバンドの演奏に乗せ、和田アキ子に  
ふんした小寺介護福祉士が「和田アキ  
子メドレー」(笑って許して、古い日記  
あの鐘を鳴らすのはあなた)を熱唱。  
最後には会場の皆様と一緒に「故郷」  
を合唱しました。

### ■ワクワクする時間 を届けたい

出演した小寺介護福祉士は、「普段  
通所リハビリのレクリエーションで利  
用者さんと一緒に歌う中で、私自身が  
音楽からたくさんさんのエネルギーを  
いただいています。今回はそのエネルギ  
ーを大東市の皆様にお届けしたいとい  
う思いでステージに立ちました。これ  
からも歌を通じて、施設、そして地  
域の皆様へ『ワクワクする時間』を届  
けたいです」

と、話して  
いました。



小寺科長は、次回の  
「スイートコンサート」  
への出演も決定して  
います♪



# 年頭にあたって



医療法人一祐会 理事長  
藤本病院 病院長

藤本 明久

新しい年の初めにあたり、皆さまにご挨拶を申し上げます。

実は、創業者の夫人であり、私の母である藤本三千恵（医療法人一祐会専務理事）が、去る10月30日に逝去いたしました。享年92歳でありました。生前中に賜りました皆さまからのご厚情に深く感謝いたします。

昨年は、藤本病院グループ70周年の年でありました。母は病院の前身である「藤本医院」開院の日から、受付に立ち、主に経営に携わってききました。18歳で、父と結婚しましたので、当法人で最も長く、事業に携わってきた人でした。

母は父に習い、事業を継続していく上で、「真面目であること」「誠実であること」を大切にしておりました。この教えが、引き続き一祐会の職員一人ひとりに継承



されていくよう、私は努めていきたいと思っています。

## ■地域密着型の

## サービスを目指す

昨年から、法人の未来像や価値観を整理し、明文化する取り組みを進めています。私たち一祐会が大切にしてきた価値観は

- ① 生命の尊重
- ② 地域社会との共創・共生
- ③ 誠意ある姿勢

の3つに整理されました。これは、目新しいものではなく、創業者の時代から続く価値観です。

新しい年、2026年は、特に「地域社会との共創・共生」を意識し、病院介護老人保健施設、サービス付き高齢者向け住宅、訪問看護、居宅介護支援事業所のいずれも、「地域密着型のサービス」を意識した運営に取り組んでいきたいと思っています。地域で暮らす皆さんの、医療や介護の困りごとを解決し、お役に立てる存在であり続けたいと思います。

## ■2026年は、

## さらに連携が重要に

これまで地域の開業医の先生方と病院が連携を深め、入院や手術が必要なときは、患者さんの紹介を受け、手術や治療を行ったのち、紹介元の先生の



ところに戻っていただき、経過観察をする・・・という流れができておりました。これを「病診連携」とよびます。同様に地域の病院同士も「病病連携」を行っております。

政府は一昨年から、病院と介護施設との連携を強化する「病介連携」を進めるよう、新たな制度を作りました。具体的には、病院と介護老人保健施設や特別養護老人ホームが、事前に「協定書」を締結し、「協力医療機関」となり、その施設の入所者さんの緊急時の受診、入院受け入れを行うほか、24時間、連絡を受ける体制をとるものです。

介護施設の多くは、医師が常駐しておらず、看護師の配置も限られます。高齢者の増加に比例し、施設で暮らす方も増え続けていることから、病院と介護施設が日頃から連携し、速やかな対応ができるようにすることが目的です。藤本病院では協定を結ぶ施設を増やし、より多くの方の役に立てるよう進めてまいります。

## ■在宅サービスの 充実に取り組む

昨年、2025年は、全国に約800万人にのぼる「団塊の世代」の皆さんが、全員 後期高齢者になりました。今後、医療、介護サービスを求める方が増え続けていきます。

在宅ですこやかに暮らす方法として「通所リハビリテーション」があります。私どもではハーモニーで行っております

が、近年、利用者が増加し、昨年、定員を35名から40名に変更しました。プログラムに工夫を凝らし、お一人おひとりの身体状況に合わせた内容になっております。

自宅で暮らし続けるための在宅サービスとして、訪問診療と訪問看護をしております。

訪問診療は、ご自宅だけでなく、サービス付き高齢者向け住宅のような医師が常駐しないところにもお伺いしています。訪問看護ステーションでは、療養のための看護と合わせ、理学療法士による訪問リハビリも行っております。昨年、訪問診療は申し込みをお断りする時期がありました。新しい年は、体制を整え、サービスの充実を図ってまいります。

## ■おわりに

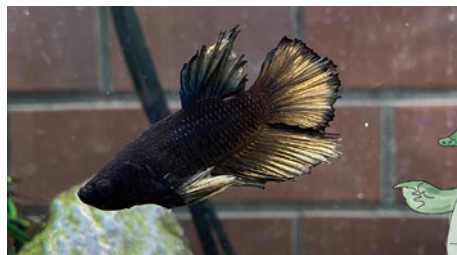
今年は藤本病院グループ71年目の年であります。次なる目標は2055年の創業100周年です。その頃、日本では、1人の高齢者の年金を、1.2人で支える社会になるといった予測があります。高齢者も現役世代も幸せに暮らせる社会を作る上で、医療・介護の事業者である私たちは、地域と時代に合わせたサービスの創造に努めてまいります。

新しい年も、何卒よろしくお願い申し上げます。

# ポンちゃんニュース！

当法人内の生き物たちの情報をポンちゃんが紹介します。

## “闘魚”の和名をもつ 「ベタ」が新しく仲間入り！



藤本病院 1階 健診受付カウ

ンター横の水槽に、12月より「ベタ」が仲間入りしています。ベタはタイ原産の魚で、エラの中にラビリンス器官を持っているため、空気中の酸素を直接取り込むことができます。そのため、水中の酸素が少ない状況でも生存できるので比較的簡単に飼育できます。

また、“闘魚”という和名を持っており、名前の通り非常に強い闘争心を持っています。オス同士では常に威嚇・攻撃を繰り返すため、2匹以上は同じ水槽で飼えず、カウンター横の水槽には1匹しかいません。

# 表紙作品の紹介



「ハスの花」  
石山 愛

当広報誌は法人内の「絵画部」部員の作品を表紙に使用しています。今号の表紙は、医療法人一祐会常務理事 石山 愛の作品「ハスの花」です。

### ◆作者の「メント」◆

若い頃、池にハスの花が咲くところを見たいと思いつながら、なぜか見る機会のないまま、ハスの花への憧れだけが強くなっていきました。

想像の中でハスの花は天使のような透明感を持って私の中で咲いていきました。

この世では泥の中で美しく咲くハスの花ですが、心の中では天国で咲く清らかな花として、光り輝く世界で天使や人々を楽しませてくれているのかなあと想像するのも楽しいです。



# 医療法人一祐会 寝屋川・藤本病院 グループ施設紹介

## 藤本病院



病院を目指します。

●産婦人科、内科、循環器内科、消化器内科、外科、消化器外科、整形外科、泌尿器科、リハビリテーション科

●急患24時間対応

●各種健診・人間ドック

●寝屋川市八坂町2-13

（京阪「寝屋川市駅」から徒歩4分）

☎072-1824-1212

寝屋川と共に歩み、今年で67年目を迎える病院。産婦人科からスタートし、地域のニーズに合わせて診療科やサービスを増やしてまいりました。地域に必要とされる

## サービス付き高齢者向け住宅 シンフォニー



定員34名のサービス付き高齢者向け住宅。入居者さんとゆつくり関わるサービス姿勢が特徴です。

藤本病院と、藤本病院訪問看護ステーションが医療面をバックアップ。

●寝屋川市太秦桜が丘32-36

（京阪バス「三井泰団地」から徒歩3分）

☎072-1396-1908

## 介護老人保健施設 ハーモニイ



ります。

●寝屋川市寝屋2-14-19

（JR学研都市線「星田駅」から徒歩4分）

☎072-1824-2090

入所定員100名、通所リハビリテーション40名の介護老人保健施設。在宅復帰をサポートするリハビリテーションを実践しております。

## 藤本病院 訪問看護ステーション



訪問看護、訪問リハビリを提供する看護ステーションです。看護師、理学療法士がご自宅・施設へお伺いし在宅療養をお手伝いします。

辺の地域へ訪問します。

●寝屋川市八坂町13-18

（京阪「寝屋川市駅」から徒歩4分）

☎072-1824-3232

## 藤本病院 居宅介護支援事業所



介護が必要となった際の、介護認定の申請手続き、ケアプランの作成、事業者の選定など、満足いく在宅介護をお手伝いいたします。

●寝屋川市八坂町13-19

（京阪「寝屋川市駅」から徒歩4分）

☎072-1811-7010



ありがとう おかげさまで 嬉しい縁を 医療でつなぐ

医療法人一祐会

PON'S 2026 年（発行 2026 年通巻 49 号）

発行：2026 年 1 月

通巻 49 号

企画・取材・編集 / 医療法人一祐会  
法人広報企画部

寝屋川・藤本病院グループ

医療法人一祐会

〒 572-0838

大阪府寝屋川市八坂町 2 番 3 号



Instagram で  
情報を発信しています。



産婦人科



リハビリ  
テーション科



介護老人保健施設  
ハーモニー



医療法人  
一祐会